

① 基本方針と活用ツール

(1) 防災教育プログラムの基本方針

～児童・生徒が主体的に学ぶプログラム～

震災直後の平成23年9月、大船渡市教育委員会、独立行政法人防災科学技術研究所(以下、「NIED」という)、311まるごとアーカイブス(その後法人化して「一般社団法人東日本大震災デジタルアーカイブス支援センター」)は、喫緊に取り組むべき防災教育について意見交換しました。その中で、地域それぞれに災害特性が異なることから、画一的・体系的なカリキュラムの授業ではなく、グループワーク・フィールドワークを中心に児童・生徒が主体的に学ぶことを方針として確認し、防災教育プログラムを開発しました。

【市内での活用事例】

- 平成24年度から 越喜来小学校
- 平成25年度から 吉浜中学校
- 平成26年度から 末崎小学校
- 平成26年度から 日頃市小学校



児童・生徒が中心となった防災教育

5

(2) 電子地図情報を活用した防災マップづくり

震災以降、多くの児童・生徒が、東日本大震災津波時に浸水した通学路を利用せざるを得ない状況にあることから、児童・生徒のみでも的確な避難行動をとることができるようになることを目的として、電子地図情報を活用した防災教育に取り組みました。

具体的には、児童・生徒が、「eコミマップ」を用いて、日常生活空間や通学路上で遭遇する可能性が高い津波リスクを特定し、最寄りの緊急避難場所(安全な高台等)への安全な経路を把握することを学習の目的としました。

【eコミマップとは】

eコミマップは、各種ハザードマップや地図、航空写真などの地理空間情報を瞬時に取得し、一枚の地図として重ね合わせることで、さらにその上に通学路や避難ルート、避難施設、生徒の自宅等の情報を書き込み、重ねて印刷することができるシステムで、平成23年9月、NIEDが開発しました。

[http://www.bosai.go.jp/activity\\_general/result/result\\_09.html](http://www.bosai.go.jp/activity_general/result/result_09.html)

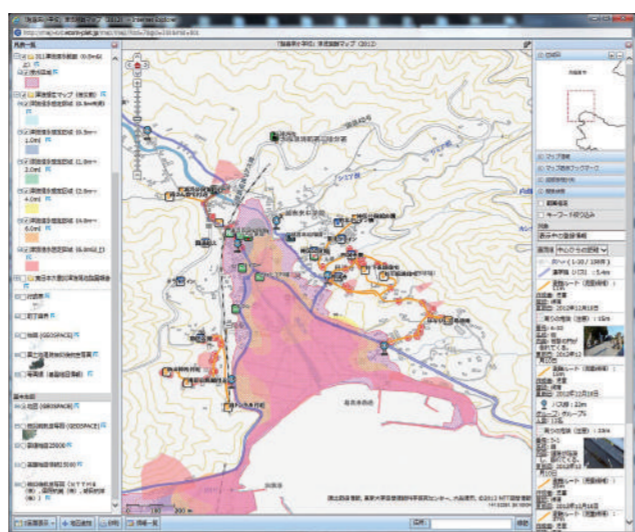


eコミマップ上で、防災教育に利用する主なコンテンツは以下のとおりです。

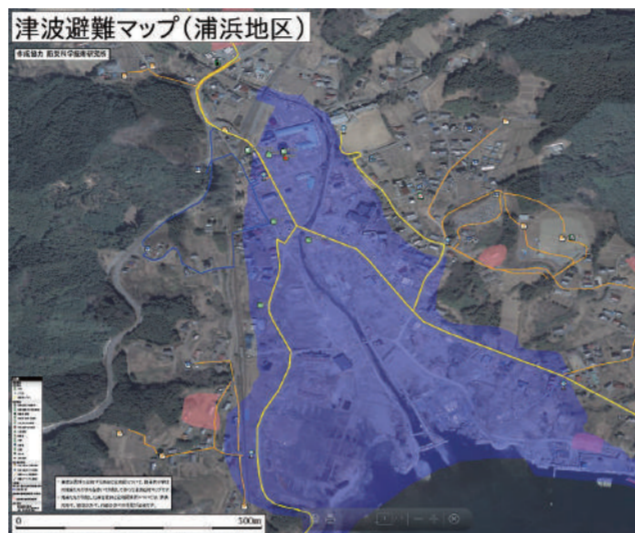
- 地形図(国土地理院)
- 被災前の航空写真(NTT空間情報)
- 被災後の航空写真(国土地理院)
- 被災前の津波浸水想定区域図(大船渡市)
- 被災後の津波浸水区域(大船渡市)
- 緊急避難場所(大船渡市)

上記のほか、学校ごとに、以下の情報を登録します。

- 全生徒の自宅所在地
- 通学班の集合場所及び通学路
- スクールバスの停留所及び運行経路
- 緊急避難場所(高台等)の候補地及び避難ルート



eコミマップ



被災後の航空写真例

7

(4) 大船渡市における震災経験を踏まえた防災教育の実践

東日本大震災津波では、大船渡市内の学校管理下での児童・生徒に犠牲はなかったものの、将来の災害は、登下校中など学校管理外で発生する可能性があります。このため、小・中学校においては、児童・生徒が現実と直面している災害リスクに重点を置きつつ、将来遭遇する可能性のある災害リスクも視野に入れ、児童・生徒が主体的に取り組む防災学習プログラムを開発し、平成24年から実践しています。

本リーフレットの発行にあたって

国の中央防災会議が、南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、中部圏・近畿圏直下地震の発生を視野に入れて対策を検討する中、大船渡市内の児童・生徒のこうした取組が、全国の自治体や住民、学校、企業等の津波災害対策の参考となり、防災・減災に資することを祈念し、本リーフレットを作成するものです。



越喜来小学校での発表風景

2



— 協力 —

- 一般社団法人 東日本デジタルアーカイブス支援センター
- 独立行政法人 防災科学技術研究所
- 特定非営利活動法人 防災・市民メディア推進協議会
- 大船渡市教育委員会
- 大船渡市立越喜来小学校

【発行元】

岩手県沿岸広域振興局  
大船渡地域振興センター

〒022-8502 岩手県大船渡市猪川町字前田6-1  
TEL 0192-27-9911 FAX 0192-27-1395

【発行】平成27年3月

東日本大震災津波の教訓を  
踏まえた命を守る防災教育  
の実践事例

岩手県大船渡市における「子ども防災マップ」の実践事例

※パンフレット中のQRコードをスマートフォン等で読み取ると、関連情報を見ることができます。無料で見ることができますが通信料が発生します。

8-3 林道付近の広場

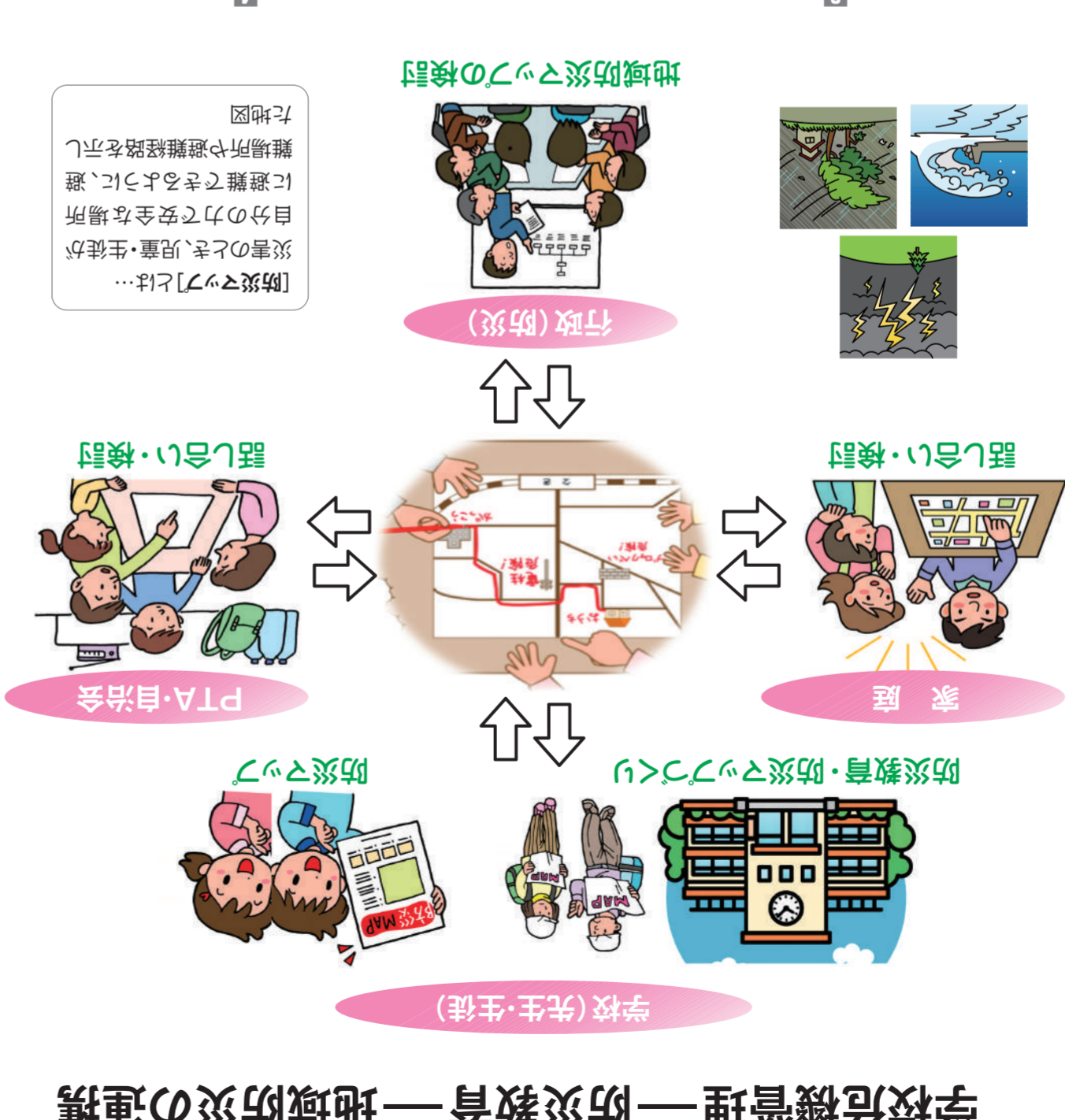
8-2 アパートの駐車場

8-1 旧崎浜小学校の裏

津波災害時に避難する高台と避難経路について、越喜来小学校の児童たちがまちを歩いて確認して作った津波避難マップです。児童たちが確認した高台候補と避難経路候補については、家族の方々、地域の方々、行政の方々の確認が必要です。

8

9



学校危機管理—防災教育—地域防災の連携

4

3

1

(1) 岩手県奥仙地方の被害状況  
岩手県沿岸南部の大船渡市及び陸前高田市は、平成23年3月1日の東日本大震災津波によって甚大な被害を受けました。人的被害は2,304人(平成26年12月末現在。震災関連死、行方不明者含む。)にのぼり、家屋の倒壊は約8,000棟に及びました。そのほとんどの地震ではなく津波による被害でした。

(2) 学校の被害  
発災当時、大船渡市内の小中学校は14校で児童数1,929人、中学校は8校で生徒数1,182人でした。津波により校舎に被害があったのは、全壊3校(赤崎小、越喜来小、赤崎中)、浸水2校(大船渡小、里小)でした。

(3) 現在の学校の状況  
自宅が被災した多くの児童・生徒は、震災から4年を経過した今なお、仮置仮設住宅等での生活を余儀なくされています。また、津波で全壊した市内2校は高台に新校舎建設を進めています。仮設校舎等に通う児童・生徒の通学路は東日本大震災津波の浸水箇所を通らざるをえない状況にあります。

はじめに

10